

施策3 生涯学び続け、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成

子どもたち一人ひとりが確かな学力を身につけ、豊かな人間性を育むことのできる地域に根ざした特色ある学校づくりを進めることで、変化の激しい時代をたくましく生きぬくことができる力を持った子どもたちを育成していきます。

詳細施策3-1 幼児のすこやかな成長を促す幼稚園教育の創造 ～自立の基礎を培うために～

●現在の状況は

幼稚園においては、「生きる力」の基礎を培うとともに、家庭や地域・小学校・保育所（園）等との連携を図りながら、小学校入学後の生活の基盤を培う役割が求められています。

●これからの取り組みは

1 遊びや体験を通した総合的な教育の推進

幼児の欲求や自発性、好奇心を重視し、人間形成の基礎となる豊かな心情や想像力、あるいは人やものごとに自分から関わろうとする意欲、さらに健全な生活を営むために必要な態度を培うため、遊びや体験を通した総合的な教育を推進します。

2 幼稚園・保育所（園）・認定こども園*・小学校の連携

保育活動や教育活動の中で幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校が交流・参観し合い、相互の連携を推進します。

詳細施策3-2 確かな学力の向上

～基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力の育成～

●現在の状況は

子どもたちがよりよく生きるために、一人ひとりの確かな学力の向上が求められています。

●これからの取り組みは

1 個に応じたきめ細かな指導の充実

一人ひとりの子どもの実態を的確に把握し、ねらいを明確にした単元構想*に基づく授業づくりを推進します。さらに自力解決*と学び合いの場*の充実を図ります。

2 「総合的な学習の時間*」の充実

目標や身に付けさせたい力を明確にして、各教科で身に付けた力や、子どもの思いや願いを生かし、学習状況に応じた適切な指導を推進します。

3 指導と評価の一体化

目標に準拠した評価や個人内評価を推進し、子どものよさや可能性、進歩の状況についての評価を指導に生かします。また、学力・学習状況調査の結果を指導に生かす工夫を行います。

詳細施策3-3

豊かな人間性の育成

～よりよく生きるための人間性や社会性を培う～

●現在の状況は

子どもたち一人ひとりが、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心を持つなど、豊かな人間性を育成することが求められています。

●これからの取り組みは

1 「地域の子どもは地域で育てる」教育の推進

学校・家庭・地域社会及び学校間の連携を充実させます。

学校では、読書活動の推進、地域の自然や人材・施設等の特色を生かした学習の充実を図ります。また、幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校の連携を推進します。家庭については、望ましい生活習慣や学習習慣・読書習慣を形成するための支援を行います。地域については、伝統行事・郷土芸能の伝承、あいさつ運動や清掃など、地域ぐるみの活動に参加できるよう支援していきます。

2 価値ある体験活動の充実

自然体験、交流体験、奉仕体験などの価値ある体験活動の充実を図ります。また、「かけがえない命の大切さ」を実感できる体験活動を実施します。

3 道徳教育の推進

子どもが問題意識を持って追求できるような指導過程の工夫や、教科等との関連、体験的な活動を生かした道徳の時間の充実を図ります。また、道徳教育の全体計画に基づいた「かけがえない命の大切さ」についての指導を推進します。



「倉渚の自然とともに」～倉渚東小～

詳細施策3-4

地域に根ざした特色ある学校づくり

～日常の教育活動の充実と信頼される学校づくり～

●現在の状況は

特色ある学校づくりでは、教職員と保護者・地域の人々が学校運営に参画し、学校の教育力(学校力)を高めることが求められています。

●これからの取り組みは

1 地域に開かれた学校経営の推進

学校評議員や保護者、地域住民等による学校関係者評価を行い、成果と課題を整理し、課題解決のための具体策を積極的に公表し、説明責任を果たすよう努めます。また、地域の教育力を活用するとともに、学校と地域との交流を促進し、地域ボランティアの協力を得て学校支援センター※の運営を推進します。

2 教職員一人ひとりが参画する学校経営の推進

人事評価制度を活用し、教職員一人ひとりの経営参画意識を向上させます。また、協働体制の確立を図り、目標設定・実行・評価・改善の過程に教職員一人ひとりが関わり、学校教育目標の達成を目指します。

詳細施策3-5

子どもを伸ばす教師力の向上

～教職員の指導力と豊かな人間性の向上～

●現在の状況は

「生きる力」を育成し、子どもを伸ばしていくために、「教師力の向上」が求められています。

●これからの取り組みは

1 学校経営の中核としての校内研修の充実

学校教育目標の達成に向けて取り組む協働体制を確立し、実践的指導力を高める研修内容の充実を図ります。また、自校の教育課題の明確化と共通理解に基づく教育課程や単元構想の見直しを図ります。さらに、保護者や地域住民等による学校関係者評価の活用を図ります。

2 指導力の向上を図る個人研修の推進

学校においては、一人一研究授業等、日常の授業研究を推進します。また、理論研修や実技研修等、教師の自己課題の解決に向けた研修を推進します。さらに、幅広い視野に立って物事を判断できるようにするため、様々な体験活動や地域行事への参加を奨励します。

3 人間関係づくりの推進

子どもと教師、子ども同士の温かい人間関係を基盤とした学級経営の充実や集団づくりを推進します。また、明るい職場づくりを基本としながら、互いに研鑽し合い、励まし合う教職員同士の人間関係づくりを推進します。さらに、保護者や地域、外部団体との積極的な連携や交流を図ります。

詳細施策3-6

一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

～特別支援教育(本市ではゆうあい教育)・通級指導教室の充実～

●現在の状況は

特別な支援を必要とする子どものために、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援について、ゆうあい教育及び通級による指導の充実が求められています。

●これからの取り組みは

1 学校・園全体で取り組む校内体制の充実

学校・園全体で取り組み、特別支援教育コーディネーターを中心にチームで支援する校内体制の充実に努め、すべての学級における特別支援教育を推進します。また、特別支援学級(本市ではゆうあい学級)と他の学級との交流や共同学習、さらに、小・中・特別支援学校の学校間交流や地域の人々とのふれあいを重視した交流教育を推進します。

2 通級指導教室の充実

通級指導教室では、言語・聴覚・情緒面についての支援を必要とする子どもや、LD・ADHD・高機能自閉症等の子どもを対象に、学校や家庭と連携した支援を行います。

詳細施策3-7

学校規模の適正化の推進

～特認校制度の推進、分離・新設・統廃合の検討と通学区の見直し～

●現在の状況は

学校規模の適正化を図り、充実した教育環境を整備することが求められています。また、通学区域制度についても弾力的運用が求められています。

●これからの取り組みは

1 学校規模の適正化

学校を選択する範囲の拡大と学校規模の適正化を図るため、特認校制度の推進に努め、分離・新設・統廃合の検討や実施に取り組みます。

2 通学区域制度の弾力的運用

地域の実情や保護者の意向が尊重されるような通学区域のあり方を研究し、より一層の弾力的な運用を図ります。



左／特認校(英語活動)～城南小～
右／特認校(情報教育)～南小～

詳細施策3-8

教育に関する研究調査及び研修、相談活動の充実

～学校や教職員への適切な指導援助を目指して～

●現在の状況は

子どもたちの人間力の育成には、教師力の向上を基本に学校力の向上、一人ひとりの子どもに応じた適切な指導が必要となっています。

●これからの取り組みは

1 教職員研修の充実

高崎市の学校教育の推進に関わる現代的な課題の解決、及び充実した教育活動を実現するための研修を企画・実施し、教職員の資質の向上を図ります。また、研究員を広く募り、学校教育推進上の課題解決を目指した調査研究を行い、その成果を公表し、本市の教育水準の向上に努めます。さらに情報化社会の進展に対応した研修事業を推進します。

2 学力向上対策の推進

学力検査結果の分析を通して、本市児童・生徒の学力の実態を把握し、今後の課題について具体的な改善策を明示するなど、確かな学力の定着と向上を図るための提言に努めます。

3 教育相談事業の充実

児童・生徒及び保護者並びに教職員からの様々な不安や悩みについて、電話及び面接による相談を充実します。

4 適応指導教室事業の充実

不登校児童・生徒を対象に、市内7ヶ所に設置した適応指導教室で、体験活動や学習指導などの指導援助を行い、学校復帰が図られるよう適応指導教室事業の充実に努めます。

5 研修を支援する教育情報資料の収集・情報提供機能の充実

教育図書や教育資料などの教育情報の収集と整備に努めるとともに、最新の件名目録をCDにまとめ配布するなど、教職員の研修を支援する情報提供機能を充実します。



詳細施策3-9

学校の活性化と一人ひとりの子どもを生かす教育の推進 ～人事交流の拡大と少人数授業の工夫～

●現在の状況は

特色ある学校づくりや子ども主体の授業づくり実現のために、教職員の熱い使命感と活力が求められています。また、子ども一人ひとりの能力や個に応じた教育活動を推進するための条件整備も求められています。

●これからの取り組みは

1 広域的な人事の推進

隣接している市町村との広域的な人事異動や幼稚園・小学校・中学校・高等学校間の人事交流を推進することによって、幅広い経験や柔軟な発想を持つ教職員を確保します。また、各学校において教職員同士の切磋琢磨を図るとともに、使命感と活力がみなぎる組織づくりに努めます。

2 校園長のリーダーシップの強化

学校を経営する責任者が地域や子ども、学校の実態に即した特色ある学校づくりを実現するために、教育課程の編成や地域との連携のあり方及び教師力の向上においてリーダーシップを発揮できるような方策を講じます。

3 きめ細かな指導の充実に向けた教員配置

子どもにとって、「つまずくことが当然」として受け入れられ、「分からないことが分からない」と言える学習環境を実現するため、学力差が生じやすい教科を中心に一つの学級を複数の集団に分けて指導する少人数指導や、一つの学級を複数の教員で指導するチームティーチングによるきめ細かな指導が充実できるような教員等の配置を図ります。

